

GTFS-JP に関する検討会 開催趣旨及び主な検討項目

1. 開催趣旨

- GTFS-JP は、交通政策基本計画等において、中小のバス事業者も含めた経路検索の実現に向けた取組が強く求められたことを踏まえ、バス事業者と経路検索事業者等の情報利用者との間で簡易に情報の受け渡しを可能とするために、「標準的なバス情報フォーマット」として定められた。
- GTFS-JP は、データフォーマットとしては、国際的に幅広く使用されているフォーマットである GTFS に、国内事業者の使いやすさを考慮した事項を加えて制定されている。
- 事業者は、GTFS-JP 形式でデータを整備することで、Google Map 等の経路検索サイトへの円滑な掲載を行ってきたが、その後の経路検索事業者の掲載基準変更等により、GTFS-JP でデータ整備を行っても、一部に経路検索事業者に掲載を拒否され、データの補正等を必要とする事例が複数発生している。
- 本検討会では、GTFS-JP の「仕様書」等について検討を行い、GTFS-JP をより使いやすいものとするすることで、GTFS-JP のさらなる普及を図ることとする。

2. メンバー

[有識者]

越塚 登 東京大学大学院情報学環 学環長・教授（座長）
伊藤 昌毅 東京大学生産技術研究所 特任講師
落合 孝文 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業パートナー弁護士

#関係事業者及び行政等のメンバーについては、別紙参照

3. 検討項目

- GTFS 及び GTFS-JP についての現状整理
- GTFS-JP 及び GTFS-JP 「仕様書」等の問題点の整理
- GTFS-JP または GTFS-JP 「仕様書」等の改訂内容についての整理